ICTサポータの活用事例

学年	教科等	単元等	活用アプリ
小3	外国語	クイズ「なんだろうパネル」	オクリンクプラス

授業内容

相手に伝わるように工夫しながらクイズを出したり答えたりする

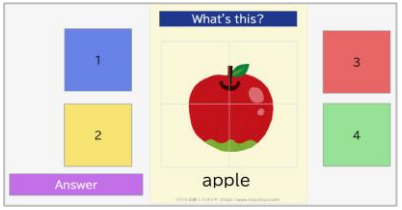
準備：
・共有コードを使用してカードを取得する。
・準備したカードを子供たちのマイボードに送信する。

授業の流れ：
1. 全体でヒントの出し方や答え方の英語表現と発音を確認する
2. マイボードに届いたカードを各自で開き、クイズの題材にするものを1枚選ぶ。
3. 選んだ題材が何かを当てるためのヒントを英語で3つ考え、ノートやメモに書く。
4. カードの欄外にある図形を使って、題材のイラストと答えを隠す。
5. クイズを出し合うペアを作り、出題者はカードを見せながらヒントを1つずつ伝える。解答者は分かった時点で答える。
6. 3つのヒントで正解が出ない場合、解答者はイラストを隠している図形の番号を英語で指定する。出題者はその図形を動かしてイラストの一部を見せ、正解するまで繰り返す。
7. 解答者の答えが合っていれば、出題者は正解であると伝えて、答えを隠している図形を移動して見せる。
8. 出題者と解答者を交代して5.～7.を繰り返し、時間内でペアをかえて4.の活動から繰り返す。
9. クラス全体で交流し、面白かったヒントや難しかったヒントなどを話し合う。

サポータおすすめポイント

- 決められたカードの中からクイズを考えるのでクイズを作る準備に時間がからず、会話する時間を多く確保することができます。
- ヒントだけではわからなくても少しずつイラストを見せることで答えやすくなります。

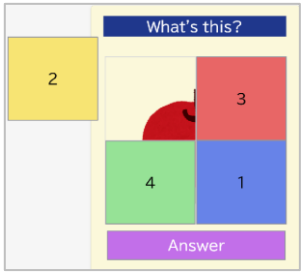
カード例



取り組みの例：すべて隠した状態



取り組みの例：2を移動させた状態



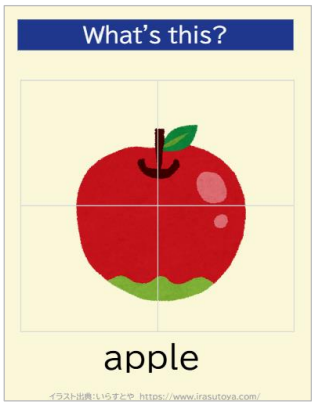
イラスト出典：いらすとや　https://www.irasutoya.com/

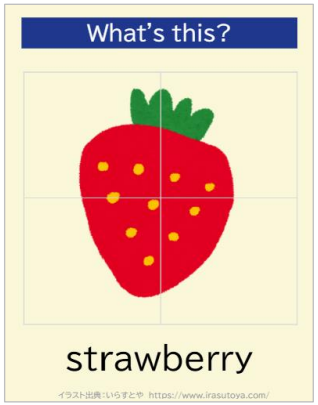
共有コード

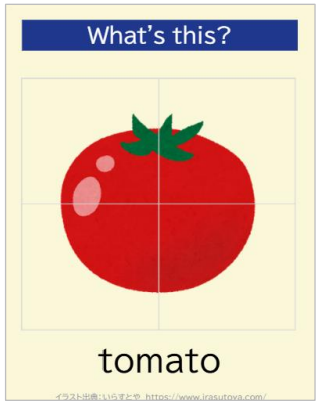
共有コードを入力、またはカメラを起動して二次元コードを読み込む

pb01M6DPXCADMW6X7KZPCX01CA8Z

カード一覧

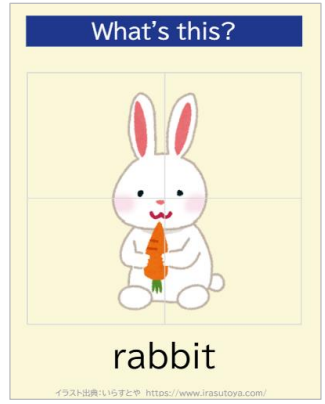


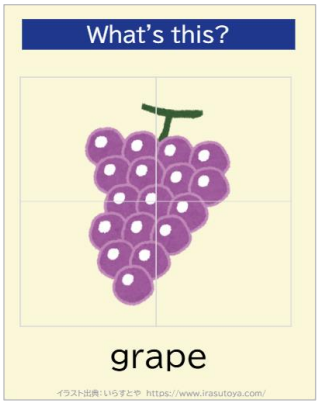




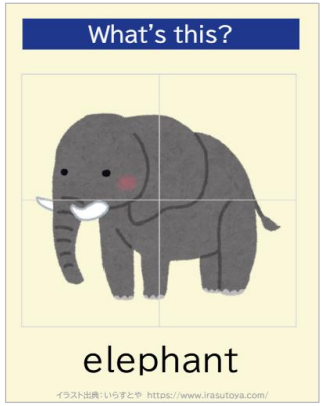


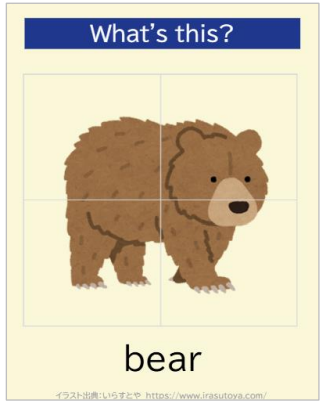


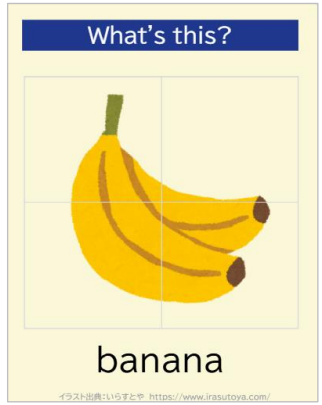


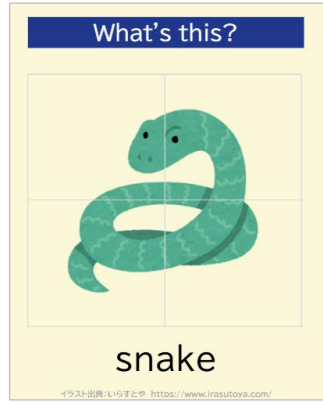












イラスト出典：いらすとや　https://www.irasutoya.com/